

平成30年度 事業実績報告

1, 会務の運営並びに連絡調整

(1) 社協の円滑な運営と事業推進を図るため役員会の開催

ア、理事会 2回 (5月・3月)

イ、評議員会 2回 (6月・3月)

ウ、評議員選任委員会 1回 (3月)

エ、監事会 1回 (5月)

(2) 行政主管課との連絡・調整

(3) 福祉団体・施設・包括支援センター・学校・その他関係機関との
連絡調整

(4) 県社協、日赤鹿兒島支部との連絡・調整

(5) 役員・職員の各種会議研修会への参加

(6) 広報活動

町民の福祉に対する理解と協力を得るために、社協だよりを町広報紙に掲載して広報した。

2, 介護保険事業の効果的運営

(1) 指定居宅介護支援事業の実施

(2) 訪問介護サービス事業の実施

(3) 訪問入浴介護サービス事業の実施

3, 地域見守りネットワーク事業の実施 (旧 在宅福祉アドバイザー事業)

近隣福祉ネットワーク活動の取りまとめ役をアドバイザーとし、在宅要支援者の見守り安否確認を実施した。

(1) アドバイザー研修会の開催

(2) 在宅要支援者の訪問見守りの実施

指定地区の活動支援

60地区 活動助成 300,000円

4, 老人福祉活動の推進

(1) 集落サロン事業の実施 (梶潟サロン19回・平鍋サロン22回) 41回実施

(2) 在宅ねたきり老人への紙おむつサービス事業の実施 (延べ人数365名)

(3) 老人交流事業の実施 (いきいき交流ふれあい事業)

7回実施 延べ人数243名 内サロン参加30名

5, ボランティア活動促進

地域福祉活動に主体的に参加するボランティアの育成と活動を推進するためボランティアの参加と研修を行い、福祉教育の充実を図ると

ともに地域の実情に即したボランティア活動の促進に努めた。

- (1) 一般ボランティア活動促進
 - ア、集合食料理活動 (7回実施) いきいき交流ふれあい事業
 - イ、研修会・連絡・調整会の開催
- (2) 高校生ボランティア体験ボランティアの実施
共同募金街頭募金の実施 (町民体育大会時)
- (3) 福祉教育の推進
ボランティア育成協力校の指定
町社協指定協力校 9校
活動助成額 225,000円

6, 生活福祉資金の活用促進

- (1) 民生委員との連携を図り、活用促進を図った。
- (2) 低所得世帯の更生指導及び長期滞納世帯に対する償還指導を行なう。

7, 宅配給食サービスの効果的運営

一人暮らしや虚弱な高齢者、身体障害者等で日常生活に著しく障害がある者に対し、配食を行うことにより、食生活の改善を通じ、健康の保持を図るとともに高齢者の自立した生活の維持や、安否の確認等在宅福祉の推進を図った。
(利用延べ人数 2,227人)

8, 一般社会福祉活動の推進

緊急災害援助活動

風水害・火災等による救援物資・金品の支給

(日赤・共同募金) 1件

10, 共同募金 (歳末たすけあい) 運動の実施

社協の重要な財源であることから、募金の主旨の徹底と理解を求め、配分金の使途報告などを行い町民の善意の協力を求めて募金運動を実施した。

一般募金	2,079,307円
歳末助け合い募金	183,000円
合計	2,262,307円

11, 日本赤十字社員・社資増強運動の実施

赤十字思想を広く町民に普及し、社員・社資増強に努めた。

実績額 1,220,000円

12, 受託事業の実施

- (1) 老人福祉センターの管理業務の実施
- (2) 介護用品支給事業活動の実施
- (3) 地域見守りネットワーク事業の実施
- (4) 地域福祉活動推進事業の実施
- (5) 福祉サービス利用支援事業の実施

- (6) シルバー人材センター職員派遣業務事業の実施
- (7) ポイントアップ事業の実施
- (8) 地域包括ケア推進事業の実施
- (9) 高齢者生き生き交流ふれあい事業の実施
- (10) 集落サロン事業の実施（梶潟サロン・平鍋サロン）
- (11) ごみ袋配送事業の実施
- (12) 生活困窮者自立支援事業の実施（県受託事業）「南社協との共同体」
- (13) その他

13, その他本会の目的達成に必要な事項を実施した。